

日々の田高（地域防災訓練の補講を行いました。）

12月7日（土）の午後に行われた地域防災訓練に、参加できなかった生徒を対象に、防災訓練の補講を行いました。内容は、車椅子、担架の取り扱い体験、応急簡易トイレ作成体験、救急救命体験です。

一つ目の体験、車椅子と担架の取り扱い体験では、災害の有無に関わらず、怪我などの際に、どう取り扱うか、どのように載せるのがなど、留意点など含めた体験を行いました。

二つ目の体験、応急簡易トイレ作成は、校内の実際のトイレを活用した体験です。便器の縁に消毒液をかけて、紙で拭き取り、一枚目の45リットルのポリ袋を被せます。次に、便座をおろして、2枚目のポリ袋（45リットル）を被せて、中に、ペット用のトイレシートを入れました。体験前には、薄いタイプのペットシート2枚で約400ミリリットルの水を吸収することや柔軟剤を染み込ませた紙を入れたビニール袋を2つ用意して、一つは匂いを低減させる袋に入れ、違いを確認してもらった後の体験としています。

三つ目の体験は、応急救護体験です。上半身の心配蘇生ができる人形を使用します。倒れている人に気がついた人が、まず本人に呼びかけ、反応を見る。次に周囲の人に声をかけ、AEDの準備と119への連絡を依頼する。心臓マッサージをする。という一連の流れを体験します。

実際に、学校周辺で体調が悪くなった方を見つけた生徒が、分担して、本人を見守ると共に、先生を呼びに来るなど、行動をしています。さらに緊迫している際には、躊躇わず119に連絡することも含め、生徒たちは、体験することができました。

これらの体験を通じて、自分の命を守ると共に、家族や大切な人、周囲の人の命を守る行動につながることを願っています。

		
応急簡易トイレの作成体験1	応急簡易トイレの作成体験2	応急簡易トイレの作成体験3
		
担架の取り扱いの説明	心肺蘇生の体験	掃除をしてくれたダンス部生徒

ここでは、応急簡易トイレ体験をしての感想と後輩への体験のお勧め分布を紹介します。

学んだこと・初めて知ったこと

- ポリ袋を二枚に重ねることで、汚れないようにして、その上からにおいを防げる青い袋に入れるとよいことが分かった、ペットシーツはすごい。
- 災害時に、簡易トイレを使うことに抵抗があったが、匂わない袋など、工夫がされていることが分かった。
- 災害時の食べ物とかに気を取られて、トイレは見落としていたので、改めて、意識できて良かった。
- 思っていたより、身近なもので簡易トイレの代用ができるのだと分かった、もしもの時に備えて、しっかりやり方を覚えておきたい。

この体験を後輩に勧めますか 5（とても勧める）←3（どちらでもない）→1（全く勧めない）

